

がんばろうを合言葉に 千年あかり・天領まつり開催！

本年七月の豪雨災害からの「復興」を大きなテーマとした第三十三回天領まつりと第八回千年あかりが十一月九日・十日・十一日に行なわれました。

九日（金）、先陣を切って花月川の河川敷で行なわれた千年あかりの点灯式では、竹灯籠の作成・設置作業に協力した林工生やまつり関係者を含め八百名が参加し、実行委員長の財津忠幸さんが「豪雨の後花月川は見るも無残な状況であったが、国土交通省や大分県・日田市そしてなによりも住民の皆様の厚い思いと協力のお陰で開催する事が出来ました。」と感謝の意を表しました。

この後、サッポロビールのイメージガールの源崎トモエさんの合図で一斉点灯を行いました。

夕暮れのなか、河川敷には「がんばろうひた」の文字が浮かび上がり、燎原の様に広がる竹灯籠の灯りに訪れた皆さんは見入っていました。

十日（土）午前十時より、天領まつりの最初の行事である「先哲慰霊祭」が丸山町公民館で、関係者四十名参加して行なわれました。

主催者である豆田地区振興協議会の橋本成人会長は「先哲の威徳を偲び、先の豪雨災害に負けない日田市造りに邁進する事を誓います。」と挨拶を行いました。

その後、今年より始まった「咸宜園世界遺産登録推進作文コンクール」の表彰式が行なわれました。受賞された方は以下の通りです。

最優秀賞 渡辺なつみ（桂林小）
優秀賞 落合 創太（咸宜小）

後藤 綾華（桂林小）
六井 将貴（桂林小）

他に佳作賞に十名が受賞しました。

恒例の郡代着任行列は、十一日（日）の午前中は雨のため中止、午後パトリアからの出発となりましたが、沿道では多くの声援を受けていました。



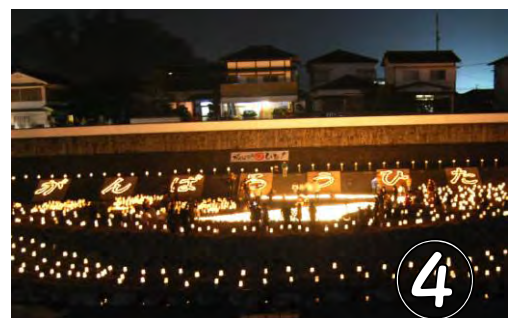
1



2



3



4

千年あかり点描 天領まつり

- ① 竹灯籠を設置する林工生
- ② 咸宜小児童も自分の思いを書いた竹灯籠を設置
- ③ 一斉に点灯する参加者



5

- ④ がんばろうひたの文字が浮かび上がった花月川
- ⑤ 先哲祭で挨拶する橋本会長
- ⑥ 作文コンクールの受賞者、左より渡邊さん、落合君、後藤さん、穴井君
- ⑦ 行列出発式で氣勢をあげる



7



6

旧古賀医院の 曳き移転工事実施！

九月二十五日（火）、旧古賀医院診療所棟の曳き移転工事がおこなわれ、その工事見学会が開催されました。

この建物は伝統的建造物に特定されたことで、元あった位置での復原修理を行うおとするもので、これだけの建物を曳き移転するのは極めて希な事例であり、地元住民などが午前午後合わせて百二十五名が見学会に参加しました。

建物の重さは十五ト〜二十トといわれ、建物が後方に設置された油圧ジャッキで押し出され前方に動き出すと、参加者はその様子を真剣に見入っていました。



曳き移転工事の工法を聞く参加者

長福寺学寮跡 発掘調査現地説明会開催！

長福寺境内で行なわれていた発掘調査についての説明会が十一月四日（日）現地で行なわれました。

発掘場所は月隈幼稚園の前身旧日田愛児園園舎の改修に伴って十月五日より進められていたもので旧園舎の東側にあたる部分になります。

調査では、園舎建築以前にあたる昭和初期の建物遺構や通路などのほかに、礎石建物一棟が確認されました。

この場所は廣瀬淡窓が最初に塾を開いたとされる長福寺の学寮跡の可能性が高いとされている所であり、咸宜園を世界遺産に登録する運動にも大きな励みになるものと期待されています。



礎石建物の説明をうける参加者

防災訓練を実施！

強い地震の後、若の屋にて火災が発生したとの想定のもと、防災訓練が十一月五日（月）、地元住民や旅館組合関係者七十名が参加して行なわれました。

訓練では、地震発生後、町内放送で豆田の辻公園に対策本部を設置する事が放送され、救護班や消火班に選任された伝建保存会の委員が集合しました。

その後、毛布で作った担架で負傷者を運ぶ訓練や屋外消火栓からの放水訓練が実施されました。

閉会式で挨拶した日田消防署の長尾消防長は「東北大地震では訓練のお陰で命が助かった事例があります。今日の訓練を活かして災害に対応して下さい。」と語り、日頃の訓練の大切さを訴えました。



負傷者を運ぶ伝建保存会のメンバー

保存審議会開催！

平成二十四年度の第一回「日田市町並み保存審議会」が九月二十八日（金）埋蔵文化センターで開催されました。

会議では任期の確認、及び新規委員の紹介・正副会長の選任が行われ、続いて旧古賀医院の計画内容について審議承認がなされました。

また二十四年度工事で進められている赤司家の修理工事について、履歴に基いて一部変更を行なうことが了承されました。

本審議会は七月に予定されていたものが豪雨のため延期されていたもので、伝建地区内での被害状況についても併せて報告されました。



審議会で協議する委員の皆さん